【一太郎 2018 編】

エディタフェーズの行間を広くして見やすくするマル秘テク

アイデア段階のメモや原稿の草案など、プレーンなテキスト文書を入力したいときは、文 字飾りなどを表示しないエディタフェーズでの作業が適しています。ただし、基本編集画 面に慣れていると、行間が詰まって見づらく感じることもあります。一太郎 2018 では、 行間の広さが通常の「ふつう」のほか、「やや広め」「広め」を加えた3段階から選べるよ うになりました。好みの見やすさに設定することで、作業に集中できる環境を整えられま す。

1. [表示-作業フェーズ-エディタ]を選択して、エディタフェーズに切り替えます。 画面左上のコマンドバーから[作業フェーズの変更]ボタンをクリックし、[エディタ] を選択しても切り替えられます。

	ドラフト編集(D) ✓ イメージ編集(I) FIDIAメージ(P)				
<u>⇒ 基本 ▼</u> 湖明 ▶ [●] 田	画面表示設定(G) 表示切替(<u>K</u>) 表示倍率(Z)	$- \underbrace{B}_{10} \underbrace{I}_{20} \underbrace{V}_{10} \underbrace{R}_{20} \underbrace{E}_{20} \underbrace{E}_{300} \underbrace{E}_{300} \underbrace{40}_{40} \underbrace{50}_{50} \underbrace{60}_{70} \underbrace{70}_{70} \underbrace{K}_{10} \underbrace{K}_{$			
	全画面表示(E) ② タブレッドビューア画面(J) 作業フェーズ(B) ⊡ くっきり画面(D) ■ 智素デザイン(L)	A S A ケネディ宇宙センターでは、恒星間ロケットを打ち上げる準備が進んで 			
<u>ت</u>		 □ 1400 □ マ b 」という星。「プロキシマ・ケンタウリ」という恒星 □ 茎を標果(0) とっくりの環境を持つ。水が存在することもわかっていて、 			
	ツールパー(① 回 ツールパレット表示(E) 回 ジャンプパレット表示(L) ファンクションキー表示(N) Shift+F2	・ 生物がいるかもしれない。 □ と2-700 4年かかる距離のこと。宇宙サイズで考えれば、ものすご 作業フェ-78章(5)… ・ ひゃん、 かんの皮 であたいな ・ ひゃん、 かんの皮 ・ ひゃん、 かんの皮 ・ ひゃん、 かんの皮 ・ ひゃん、 かんのすご ・ ひゃん、 かんのすご			
- -	 ジブラウィンドウ表示(<u>A</u>) 補助(<u>H</u>) 	ーとっては途方もない距離だ。従来のロケットなら、片道で40年以上はかかって ーうだろう。新たに開発された、光に近い速度を出すことができるロケットでも			
	71.0 Ž	■● サ、仕(及) ら向に地球では10年を越える時間が経過することになる。 ● 絶射台には、 巨大なカメの甲羅を思わせる楕円形状のロケットが待機し、朝日を			

 \downarrow

2. [表示-画面表示設定]を選択します。

■ 一大即-[長い夏休みの終わりに_1,Id]								
🖲 ファイル	編集 表示(V) 挿入 書式 副線	ツール ウインドウ ヘルプ JUST_PDF_3						
	 ドラフト編集(D) イメージ編集(I) 	l 🗈 💼 😏 😅 🖉 · 🔯	文字					
1 1715	印刷イメージ(2)	米 えの良い文書に整える						
P	◎ 画面表示設定(G)	文書ごとに記憶される画面表示の設定を変更しま [n] [80 [70						
oo 1	プロロ 表示切替(近)	9.						
2		では、恒星間ロケットを打ち上げる準備が進						
P 3		系の外に飛び出す有人宇宙ロケットだ。行						
:≡ 4	き先は (#=7)-7(B)	レマト」という星。「プロキシマ・ケンタウ						
		▶ 球にそっくりの環境を持つ。水が存在する						
ت 6	ことも 日 なまデザイン(1)…	5と人間に近い生物がいるかもしれない。 ⊠						
✓ 7	4光	5距離のこと。宇宙サイズで考えれば、もの						
8	すごく同ツールパレット表示(E)	ヽるキロメートルで表すと、約40兆キロメー						
9	トル。 🗉 ジャンブバレット表示(U)	巨離だ。従来のロケットなら、片道で40年以						
10	上(はか/アンクションキー表示(N) Shift+F2	- 開発された、光に近い速度を出すことがで						
11	きるロ 🗹 ソブラウインドウ表示(A)	「る間に地球では10年を越える時間が経過す						
12	ること(補助山)・							
13	発射台には、巨大なカメの甲羅	を思わせる楕円形状のロケットが待機し、朝						
14	日を反射して輝く。これまでのロ	ケットとはまったく異なる方法で設計され、						
15	新開発の燃料と、新しい航法を採	用している。ロケットの愛称は、その見た目						
16	から「フルー・タートル(=青い)	カメ)」だ。白いロケットの木休は、フルー						
1/	のワインで鮮やかに稼取られてい	C、刀メの後ろ足にめたる部分には、ロケッ 						
18	下エンンノの噴射口かと機見える。							
19	(H)							

 \downarrow

3. [画面表示設定] ダイアログボックスが開くので、[エディタ] タブに切り替えます。 [行間] で [やや広め] や [広め] を選択して [OK] をクリックします。エディタフェ ーズでいつも同じ設定を利用したいときは [記憶] をクリックして設定を保存します。



4. 左から、[ふつう] [やや広め] [広め] の行間を設定しています。行間の広さによっ て見え方が変わります。好みの行間を設定しましょう。

			0 10 20 30 30		0 10 20 30
1	プロローグ回	1	プロローグビ	1	プロローグ 🛛
2	NASAケネディ宇宙センターでは、	2	NASAケネディ宇宙センターでは、	2	NASAケネディ宇宙センターでは、
3	んでいる。人類史上で初めて、太陽系の	3	んでいる。人類史上で初めて、太陽系の	3	んでいる、人類史上で初めて、太陽系の
4	き先は、4光年先にある「ブロキシマト	4	き先は、4光年先にある「プロキシマヒ	4	き先は 4光年先にある「プロキシマト
5	リ」という恒星をよわる惑星で、地球に	5	リ」という恒星をまわる惑星で、地球は	4	
5	こともわかっていて、ひょっとすると/ オツケけ、ツの海底ですケわれる店園	6	こともわかっていて、ひょっとすると人	5	フ」という恒星をよりる惑星で、地球の
8	キ元年は、元の述及てキキかかる距离 まごく近いけわど ふだん使っている!	7	4光年は、光の速度で4年かかる距离	6	
a	トル 人間にとっては途方もない距離れ	8	すごく近いけれど、ふだん使っているキ	7	4光年は、光の速度で4年かかる距離
10	上はかかってしまうだろう、新たに開発	9	トル。人間にとっては途方もない距離た	8	すごく近いけれど、ふだん使っている
11	きるロケットでも片道5年、往復する間	10	上はかかってしまうだろう。新たに開発	9	トル。人間にとっては途方もない距離/
12	ることになる。 🖻	11	きるロケットでも片道5年、往復する間	10	上はかかってしまうだろう。新たに開墾
13	発射台には、巨大な力メの甲羅を思れ	12	ることになる。 🖻	11	きるロケットでも片道5年、往復する間
14	日を反射して輝く。これまでのロケット	13	発射台には、巨大なカメの甲羅を思れ	12	ることになる。 ₪
15	新開発の燃料と、新しい航法を採用して	14	日を反射して輝く。これまでのロケット	13	発射台には、巨大な力メの甲羅を思れ
16	から「ブルー・タートル(=青いカメ)	15	新開発の燃料と、新しい航法を採用して	14	日を反射して輝く、これまでのロケッ
17	のフインで鮮やかに縁取られていて、ア	16	から「ブルー・タートル(=青いカメ)	15	新開発の燃料と「新しい航法を採用し
10	トエノンノの唄射ロかと懐見える。 🗉	17	のラインで鮮やかに縁取られていて、ナ	10	が開発の燃料と、新しい加加と利用し
20		18	トエンジンの噴射口が2機見える。 🗷	16	
20	で大陽系の外に出る初めての地球人とな	19	e	17	のフインで鮮やかに稼取られていて、ア
22	打ち上げを待っている。ヘルメットのシ	20	搭乗する宇宙飛行士は、日本人の長瀬	18	トエンジンの噴射口が2機見える。 🗷
23	ロケットと交信する管制室の中には、隼	21	で太陽系の外に出る初めての地球人とな	19	(e)
24	者でもある 僕 笹岡時生(ささおか・	22	打ち上げを持っている ヘルメットの	20	搭乗する宇宙飛行士は、日本人の長瀬

[ふつう]

[やや広め]

[広め]